平成26年度

「社会を明るくする運動」

標語及び作文入選作品の紹介

出雲地区保護司会では「犯罪のない明るい街づくり」「青少年の非行防止」をアピールする標語を、一般の部、小・中学生の部（出雲市青少年育成市民会議との共催）として募集しました。一般は134点、小学生は527点、中学生は59点の応募がありました。

また、島根県社会を明るくする運動推進委員会が行った作文コンテストに協力し、小・中学校に参加を呼びかけたところ、小学生から80点、中学生から31点の応募がありました。

当保護司会で慎重に審査した結果、次のとおり決定しました。たくさんの応募をありがとうございました。

一般の部

最優秀賞

立直る
君の決意に　支援の輪
芦渡町　石橋　厚

優秀賞

つらい時
癒してくれる　家族の笑顔
斐川町　大森　咲希

優秀賞

人の子も
わが子と同く　しかる愛
河下町　和田　広美

優秀賞

まなこ見て
本気できこう　子の話
古志町　小玉　幸枝

優秀賞

やりなおす
君に「おかえり」地域の輪
大津町　石橋　律子

優秀賞

畑から
見守りつづけた　登下校
斐川町　大森　菊枝

佳作

育てよう！　豊かな心と　強い意志
大社町　伊野木　正

だめだよと
皆んなが言える　友づくり
大社町　林　宏

「ごめんなさい」
えがおで返す　「こちらこそ」
日下町　柳楽　桂子

助け合い　感謝の笑いの　ある社会
湖陵町　春日　ノブ子

聞こうよ
心のトビラ　あなたから
湖陵町　三原　知恵

輪の中に　入らぬ人も　仲間だよ
野石谷町　原　敬子

非行の芽
摘み取る勇気　与える助言
大社町　山崎　英雄

通学路　見守る笑顔　地域の輪
武志町　築森　寛喜

しっかりと　支えてつなぐ　立直り
天神町　高橋　弘吉

私から
繋げていきたい　笑顔の輪
斐川町　大森　真弓

小学生の部

最優秀賞

あいさつで
笑顔つながる　地域の輪
神西小学校　二年　柘植　夢生

優秀賞

なかまはずれ
しない　させない　こえかけて
神戸川小学校　一年　小川　陽登

たすけ合い
人がつながる　町づくり
出東小学校　四年　今岡　春花

優良賞

あいさつは
してもされても　いい気分
大津小学校　六年　阿食　亮太

またあした
みんなのえがおに　あいたいな
高松小学校　二年　渡部　妃菜

育てよう
「やめて」と言える　その勇気
高松小学校　六年　泉川　宙大

かなしいよ
みんな知らない　見ないふり
長浜小学校　三年　桑原　弘輝

つくろうよ
みんなが　笑顔に　なれるまち
灘分小学校　四年　田中　陸

おはようで
心のトビラ　ひろがるよ
東小学校　二年　曽田　凌玖

友だちは
勇気をくれる　たからもの
東小学校　五年　福田　玲奈

ありがとう
心をつなぐ　あいことば
西野小学校　四年　澤田　聖菜

知らないの？
見ているだけでも　いじめだよ
中部小学校　五年　飯塚　音乃

ゆうわくを
はっきりことわる　その勇気
出東小学校　四年　安食　太智

中学生の部

最優秀賞

気づこうよ
命の重さ　大切さ
斐川東中学校　三年　石原　和奏

優秀賞

さしだす手
少しの勇気と　思いやり
第二中学校　一年　杉原　実果

考えよう
使う言葉の　その意味を
浜山中学校　二年　白築　駿

優良賞

とめようよ
見ているだけなら　いじめだよ
第二中学校　一年　長岡　拓生

ゆずり合い
心がけよう　日ごろから
第二中学校　一年　原　琴音

そのさそい
大きな事件の　道となる
浜山中学校　一年　加藤　雄大

さしのべよう
心と心を　つなぐ手を
浜山中学校　一年　日野　綾香

あいさつで
心の窓を　開こうよ
浜山中学校　二年　加藤　綾望

スマホの手
離して笑顔で　会話しよう
浜山中学校　三年　道上　紗都

あいさつで
笑顔あふれる　やさしい町に
浜山中学校　三年　松尾　双葉

見直そう
言葉と行動　相手の気持ち
光中学校　二年　錦織　宙翔

「やめようよ」
言える勇気と　聞く勇気
斐川東中学校　三年　石川　蓮

ありがとう
人をつなげる　あい言葉
斐川東中学校　三年　勝部　航平

第六十四回〝社会を明るくする運動〟作文コンテスト優秀作品

最優秀賞　島根県推進委員会委員長賞

直接話すことのよさ

出雲市立平田中学校　一年　釜屋（かまや）　薫（かおる）

今の時代、メールの他にＬＩＮＥなど、手軽にいつでも通信できるアプリが幅広く普及しています。これらは確かに簡単で使いやすくて、便利な点がたくさんあると思います。でも私はふとこう思いました。

「メールやＬＩＮＥよりも、直接話すほうがより楽しくて、私達にはとても良いことなのではないか」と。

私がこう思うのは、これまでに「話すことが楽しい」と思える体験を何度もしたからです。

例えば、他県に住んでいて時々メールのやりとりをしている姉と久しぶりに会った時、メールでは見られない笑顔を見て、「あっ、元気そうだな」と感じたことがありました。直接話すと声や表情などで相手の気持ちがよく分かったり、話の中で思いを言い合えたり、喜怒哀楽などの感情が出てきたりして、共感できます。顔を見て話すと、自分の言いたいことも相手に伝わりやすく、「自分の話を聞いてくれている！」という実感がわいてとても楽しいことに気づきました。

そして、今まで暗い気持ちでいたり、なやんでいたりしたことも忘れ、心が軽くなったような気がし、その後の生活がとても有意義なものになりました。

そんな中、私は自分の考えていたことと関連しているある本に出会いました。その本は学校生活について書かれていて、私はその中の「友達がほしいのなら」という所に目をやりました。そこには、本当に友達がほしいのなら、仲良くなりたいのなら、直接話したらいい。友達がたくさんいる人は、人と接する機会が多くたくさんの人と話をしている。それにならって、メールや電話の回数を一回でも減らし、直接会って話すようにする。それが人間関係を良くするコツだ。とありました。私は大いに共感しました。

ここで、「今ではビデオ通話といって、おたがいの表情が見えるものがあるから、直接会わなくてもそれでいいんじゃないか」と疑問に思う人が中にはいるかもしれません。でも、表情は見えたとしてもやはり機械を通して見えているもので、人間味がないので感情は伝わりにくいのでは？と私は思います。それに、その人のしぐさ、雰囲気、身ぶり手ぶりも感じにくいと思います。また、直接会って話すと、近くで話すことができ、ビデオ通話とは気持ちも違って安心感があり、話している！と感じることができます。

私達にとっては身近すぎて見落としそうなことですが、直接会って話す、人とかかわる機会を増やすことで、会話の大切さを再発見できるのではないかと思います。そして、人の輪を広げていくことで、本当の明るい社会を築いていけたらと願っています。

友達

出雲市立田儀小学校　六年　高橋双葉

私には、たくさんの友達がいます。これはとてもすばらしいことだと思います。だって友達がいればなやみ事も聞けるし、楽しかったことも話せるので自分の気持ちを伝えられるすばらしい存在だと思うからです。

私は、この世の中にいじめや差別があるのがとてもいやです。背が低いだとか、顔がおかしいだとか、スポーツや運動ができないなどの理由でいじめられたり差別を受けたりする人がいるとしたら、とても残念に思います。他にも、あだ名をつけられたりしてその人の心が傷つくようなことがあると、とても悲しくなります。

そんなふうに思っている私でも、実は友達にいやなことをしたことがあります。その時は、相手の気持ちなんてまるっきり考えることもしないでおもしろがっていたけれど、自分が同じようなことをされた時に、後から冷静になって考えると、とてもかわいそうでひどいことをしていたんだということに気づかされました。その時に相手がどんな気持ちでがまんしていたかを考えれば考えるほど、とてもひどいことをしていたんだと思い、すごく反省しました。

私が四年生の時におられた校長先生は、いつも「自分がやられていやなことは、人にはしない」と言っておられました。自分がそのことを経験してみて、ようやく言っておられた意味が分かりました。だから今は、友達がいやな思いをするような事はしないように気をつけて生活しています。

私の友達の中には、とてもすばらしい人がいます。男女関係なく仲良くできて、なやみ事があるといろいろと相談にのってくれます。「○○したらいいんじゃないの？」「○○の方がいいよ！」など本当に私たちのことを考えてすてきなアドバイスをしてくれます。いやなことをされたりすると、「いけないよ！」ときっぱり言ってくれたりもします。今の私にはそんなことは、あまりできません。話す時も、どちらかというと女子との会話が多くて、男子とはあまり話しません。なぜ自分にはあまりできないのに、その人にはできるのかな？と考えてみました。すると、私とその人との大きな違いに気づきました。それは、きっとその人は相手の気持ちをよく理解して接しているからだと思います。たとえば男子が相手だとすると、相手の話したい話題や話して楽しいと思える事をうまく聞いたり話したりしているのです。だから自分の伝えたいことばかり話すのではなく、相手の気持ちを考えながら話をしているので、おたがいに気持ちよく会話ができています。私にはその気持ちがちょっと足りなかったと気づきました。これからは相手の気持ちも考えながら話すようにしていこうと思うようになりました。そうすることでおたがいが傷ついたり困ったりすることもずいぶん少なくなると思います。

今、世の中では、いじめや犯罪などがとても多いと聞きます。でも日ごろから、友達同士が今私が思っているような接し方をして明るく楽しい会話を増やしていけば、きっとそのような悲しい出来事を少しでも減らすことにつながるのではないかと思います。私はこれからの社会に出て、いろいろな人とかかわっていくことになると思いますが、私の友達のように相手の気持ちを考えながら会話をするように心がけ、明るくて楽しい人間関係を広げていきたいです。